

- 永享
- 一一 黒森神社棟札 ⑤二一一
 - 一八 南部守行安東氏と仙北蒨場野に戦ふ ⑤三五六
 - 南部守行陸奥國司となる ⑤三二八
 - 南部守行閉伊の賊を討つ ⑤三五七
 - 遠野白山神社建立 ⑤一一二
 - 一九 南部守行横田へ出陣す ⑤一七三
 - 二二 谷内村權現堂再興棟札 ⑤一八四
 - 南部守行櫛引八幡宮再興 ⑤五三三
 - 二三 南部義政鎌倉に上杉氏憲を援く ⑤三三八九
 - 二七 繫村藤倉神社棟札 ⑤三六二
 - 二九 下根子村八幡神社建立 ⑤一四
 - 三〇 南部光經薩摩守補任狀 ⑤四四一
 - 岩泉村羽黒堂棟札 ⑤六一
 - 蒨屋村貴布禰神社棟札 ⑤一七
 - 天臺寺文書 ⑤一三
 - 四 天臺寺文書 ⑤七六
 - 南部守清刑部丞補任狀 ⑤三三
 - 五 天臺寺文書 ⑤七七
 - 和賀・稗貫の亂 ⑤四七〇
 - ⑤三六三 ⑤三二八 ⑤四五一 ⑤九三五

- 文安
- 八 南部義政稗貫高林城・十八ヶ城を陥る ⑤三六四
 - 九 南部守行卒す ⑤一一八 ⑤三〇六 ⑤二〇一
 - 一一 福士庄太郎戦功に依り不來方の郷を賜はる ⑤四一五
 - 一二 南部義政鎌倉持氏の亂に戦功を樹つ ⑤三六五 ⑤三二九
 - 二 南部義政卒す ⑤三〇六 ⑤三六六
 - 五 南部政盛卒す ⑤三〇七
 - 三 南部助政卒す ⑤三〇七
 - 平泉より京都へ辨慶石を運ぶ ⑤四八四 ⑤五七五
 - 土館村源勝寺草創 ⑤四六二
 - 寛正
 - 三 南部光政卒す ⑤三〇七
 - 應仁
 - 二 稗貫圓滿寺鐘銘 ⑤七〇 ⑤九四 ⑤八三 ⑤四六六 ⑤五二九 ⑤九七一
 - 五 南部時政卒す ⑤三〇七
 - 一四 蒨屋村貴布禰神社棟札 ⑤一一三
 - 津輕石村觀音堂造像銘 ⑤一一七
 - 寛文
 - 一五 南部通繼卒す ⑤三〇七
 - 一八 鹿角小豆澤大日堂再建 ⑤三六七 ⑤四三〇
 - 田屋村熊野神社建立 ⑤二四五
 - 延徳
 - 二 平泉達谷窟堂塔炎上 ⑤五〇二

文龜	三	南部信義卒す	三〇八
		大迫村妙琳寺文書	六八
永正	四	南部政康卒す	三〇八 三七二
	五	南部安信卒す	三〇八 三七五
		谷内村權現堂再興棟札	五三五
	九	外山村朝日觀音順禮札	二八七
	一八	苧屋村貴布禰神社獅子頭銘	一一四
大永	三	南部氏三戸小向館を居城と定む	五三六
	四	田名部村薬師神社建立	二四四
	二	谷内村權現堂再興棟札	五三五
天文	四	早池峯新山神社棟札	一一一
	八	三戸城炎上(一本十八年)	一一八 三七六 二六六 三二三 四三二
		千徳村羽黒堂棟札	一一六
	一〇	黒森神社棟札	五二二
		猿森村八幡神社建立	二四五
	一一	苧屋村貴布禰神社棟札	一一三
	一四	雫石落城戸澤十郎新庄へ走る	三七
	一五	南部信直生る	三八四 二〇一 四〇〇 四三四

弘治	一九	南部信直小本村に逃る	三一七 三一九
	元	葛西晴胤卒す	二〇
	三	葛西氏宇方廣本を亡す 稗貫爲嗣龜ヶ森光廣を討つ	一六六 九一八九
永祿	二	淨法寺村白山神社建立	一七一
	五	花卷松庵寺草創	一六六
	六	南部晴政卒す(一本元龜三年・天正十年)	三〇九 三八二 一八六
		小槌村羽黒新山權現堂獅子頭銘	一一六
	八	南部晴繼卒す(一本元龜三年)	三〇九 三八二
		七戸村八幡神社棟札	二四六 五三六八
	九	秋田城之助近季領内鹿角谷内を襲ふ	三七六
	一〇	秋田氏屢々西境を侵す	三七七
元龜	一二	南部晴政鹿角を奪還す	三七七
	二	谷内村權現堂再興棟札	五三五
	三	石川高信津輕出陣 杉生大藏松前に逃る 飯岡城陥る 穴澤村羽黒新山堂建立	二九六 四二七 四三五 三〇四 二七〇 二七五 一一六

天正元

- 元 平泉觀自在王院炎上 ⑤五〇一 ⑥六四六
- 二 紫波赤澤川胡桃澤用水紛争文書 ⑥三三七 ⑦三四三
- 三 稗貫頼忠卒す ⑥六七七 ⑦一五四九四 ⑧九六七 ⑨二一七
- 四 南部利直生る ⑥四二三 ⑦三三二 ⑧一七四三七
- 五 似鳥村新山權現堂棟札 ⑥一七六 ⑦五二九〇
- 六 築田大學・大ヶ生玄蕃等南部氏に降る ⑥三四三二
- 七 小向村に馬場館を築く ⑥二二二 ⑦五三三六 ⑧三九八
- 八 南部信直大向村鎧神城を居城とす ⑥二二二 ⑦五三三六 ⑧三九八
- 九 阿曾沼孫次郎織田信長に白鷹を獻す ⑥一九六 ⑦三三一七 ⑧三六九
- 鹿角郡代を置く ④一一一
- 多田義治卒す ③二五九
- 羽州比内城陥る ②一三八
- 石川高信津輕に卒す ③一九四 ④四三六
- 鱒ヶ澤に大魚死して浮び寄る ③一九二
- 北左衛門南部系圖を携へ織田信長に使す ③三三〇
- 大豆門權現堂再興棟札(一本天正十年) ④四九六 ⑤一一一六
- 大迫村桂林寺開山慶守和尚遷化す ④九二二 ⑦
- 小鳥谷村熊野神社棟札 ④一七三

- 本誓寺盛岡に移る ⑤二七
- 三戸赤石村長谷嶽觀音堂建立 ⑤三三八
- 一四 南部信直雫石城を陥る ⑤四〇四 ⑥四〇五
- 羽州比内南部信直の有に歸す ⑤四〇五
- 南部信直豊臣秀吉に鶴鷹・馬を獻す ⑤四〇五
- 豊臣秀吉より南部信直に朱印狀 ⑤四〇五
- 一五 南部信直北信愛を前田利家に遣はす ⑥一七 ⑦一二六 ⑧三八七 ⑨五六一 ⑩四三六
- 南部信直斯波を討つ ③三五五 ④三五七 ⑤三六八 ⑥四〇四
- 津輕地方疫病流行す ③一九五
- 津輕に光物出づ ③一九三
- 一六 南部信直駿馬を豊臣秀吉に獻す ③三八九
- 石川政信急死す ③三一 ④一四一
- 大浦右京爲信反逆津輕を押領す ③三二〇 ④四〇五
- 斯波御所没落す ③五五 ④一三一
- 紫波郡を志和郡と改む ④六九
- 鱒澤村稻荷神社棟札 ④四七 ⑤一五二
- 一七 南部信直に豊臣秀吉より參陣に付印書 ③四〇六
- 葛西晴信没落 ③二〇

五	上杉景勝謀叛に付南部利直・阿曾沼廣長出陣す	四二六	二四三七	四三九
	和賀岩崎城に多田主馬一揆を起す	一八〇	四二九	五七四
	鯨澤左馬助阿曾沼廣長に叛く	一九七	四三三	二五
	阿曾沼廣長世田米に逃る	一九九	四三三	
	大迫右迫大迫城を陥る	二四二	九	
	黒森神社棟札	五二二	二	
六	岩崎落城多田氏亡ぶ	一九三	四四四	五八一
	阿曾沼廣長戰敗遠野南部氏に歸す	二六九	三七〇	
	宮部兵部大輔・岸田伯耆守南部氏に預けらる	二三八	四四五	
七	北十左衛門鹿角白根西道金山採堀す	四四八	一三三	
	早池峯山妙泉寺再興	五二九		
八	不來方城普請	三八六	三七〇	
九	驛路に一里塚を築く	四七一		
一〇	南部利直將軍秀忠上洛後陣供奉	四三九		
一一	南部重直江戸に生る	四三九		
	高田村觀音堂建立	四九		
一二	南部利直早池峯へ社領を寄進す	四六一	六	
	小鳥谷村熊野堂再興	一七三	五二五	九

一三	達會部村舊館八幡宮棟札	一七八		
	七戸村八幡宮棟札	二四六	五六八	
	戸來村新山神社建立	一九八		
	大湯村薬師神社建立	二二二		
一四	盛岡中津川上の橋擬寶珠銘	四八六	三七〇	四一一
	八戸直政病死	二五五		
	松前より脇舘臍を將軍に献す	四四〇		
	田名部圓通寺草創	三九四		
一六	盛岡中津川中の橋擬寶珠銘	五二九	四五二	三七〇
	南部・津輕津浪死者三千餘人	四五一		
一七	盛岡中津川下の橋成る	五三〇	四五二	四一一
	仙洞御所御普請御手傳	四四一		
	千徳村熊野神社棟札	一一四		
一八	南部利直徳川家康に砂金千兩を献す	四四一		
	北十左衛門鹿角郡金山奉行となる	一五七		
	北信愛卒す	二六七	四四〇	五四六
	小向村八幡宮再興	九二〇	九二〇	九二七
	上鹿妻村諏訪神社鰐口銘	三三七		
		一四		

- 一九 橋野村熊野神社鰐口銘
南部利直大阪の陣に向ふ
大阪陣に南部利直田名部の蝦夷を伴ふ
大阪出陣に木綿草鞋賣切となる
馬の需要多く高値となる
砂金の相場上る
門馬・黒田・宮古附近大津浪
紫波の大槻暴風に倒る
二〇 八木澤村白山神社再興棟札(元和と改元)
南部利直徳川家康より虎拜領す
北十左衛門刑せらる
南部利直疱瘡神を祀る
御預人岸田伯耆守卒す
不來方城を森ヶ岡城と改む(一本元龜元年)
二 南部重信閉伊那花輪に生る
南部利直將軍に鷹を献す
三 大久保右京亮南部氏に預けらる
不來方城を修築す
- 元 和 元 四六二 三七一 四四二 四六二 四四三 五一六 二三八 四六二 三七九 二〇七 三二五 四八七 四五三 八二 四六二 四四二 二三八 四六二 三八六 四一〇 四五

- 寛 永 元 盛岡諸士屋敷割始む
米内村薬師堂再興
四 聖壽寺開基關山禪師遷化
檜山村八幡社棟札
五 南部氏不來方城より三戸城へ移る
九 南部利直・重直徳川秀忠・家光に従ひ上洛す
南部政直卒す
元 大迫代官領地郡山城代支配に屬す
九戸大明神建立
岩淵村白山権現再興棟札
二 檜崎村觀音仁王門造營棟札
南部重直徳川家光上洛供奉
三 南部氏三戸城より高水寺城へ移る
盛岡新山堂建立
四 南部直義八戸より遠野へ移る
中尊寺神事制札
五 遠野領小友村金山論争文書
御預人大久保右京亮免罪江戸に歸り將軍に再び仕ふ
- 三三八二 一四九四 四四二 三三八六 二〇七 四六三 四四二 四六四 二六八 四四二 五一七二 九五四七 五二九二 五三六四 二四七〇 三四四四 一三八六 一四三三 五二九 一四六五 一〇六 四三七八 三五九三 四三八七 四六五

- 似鳥村新山權現再興棟札 ⑤二九〇
- 六 南部利直志和郡高水寺城を修築す ④六七 ③四四二
- 九 南部利直卒す ④六一 ⑤二四 ③一六四 ③三七三 ④四四 ⑤一〇
- 邦内馬數書上 ⑤一二五
- 一〇 盛岡城成り南部氏高水寺城より移る(一本十二年) ③三八六 ③二一〇
- 黒田藩家臣栗山大膳南部氏に預けらる ③二三八 ④七二
- 一一 南部重直將軍參内供奉 ②四七二
- 一二 方長老森岡に配流せらる ③四七三
- 一三 南部重直閉門 ④七三 ③二七一 ③三七三 ④三三
- 盛岡城本丸炎上 ③三八六 ③三八七 ③三八八 ③五三一 ③二一〇 ④七三 ④一〇五
- 新庄村新庄觀音堂建立 ①四九八
- 新庄村小山觀音堂建立 ①四九七
- 一四 黒森神社棟札 ①三二八
- 一五 南部重直閉門御免 ④七三 ③二七一 ③三七四 ④三三 ⑤二四
- 盛岡愛宕堂建立 ⑤三三九 ③三九七
- 沖田面村新羅大明神炎上 ⑨二二七
- 一七 大迫村桂林寺炎上 ③二三八
- 御預人宮部兵部大輔卒す

- 黒森神社棟札 ①三二八
- 遠野城下櫻馬場普請 ④四一四
- 一八 三閉伊に七里塚を築く ①三二四
- 七戸隼人七戸城主となる ①三二五
- 盛岡城御新丸竣工 ④一〇九
- 南部藩諸家系圖を徳川家光に献ず ③二二二 ④七四 ③二七二 ③三七五 ④三三
- 一九 藩内飢饉公倉四千餘俵を頒ち飢饉を免る ②四七五
- 仙臺・遠野兩境を兩藩にて立會取極 ④三九七
- 二〇 南部重直江戸城堀の浚渫役被仰付 ③三七五
- 領内惣石高書上 ⑤五七八
- 山田浦に和蘭船漂着す ①二二三 ④七五
- 盛岡大勝寺鐘銘 ④三〇
- 盛岡永祥院鐘銘 ④四一 ⑤二二
- 盛岡恩流寺鐘銘 ①四七五
- 盛岡廣福寺鐘銘 ①四七六
- 盛岡正傳寺鐘銘 ①四七四
- 盛岡愛宕堂再興 ①四七七
- 二 領内繪圖を作る ④七三
- 正保元

慶安	元	領内湊・浦書上 領内野・牧書上 盛岡仁王町に仁王堂建立 南部重直に徳川家光より下知狀 盛岡城内時太鼓を廢し時鐘に改む 盛岡神明社鰐口銘 巖鷲山權現再興 福岡巖窟觀音鰐口銘 上斗米村明光寺建立 新庄村新庄觀音再興 領内遠見番所書上 遠野城炎上す 盛岡城涌鐘銘(承應と改元) 栗山大膳歿す 盛岡聖壽寺鐘銘 關根村大日如來堂棟札 遠野瑞應院建立 七戸村八幡宮棟札	●七三 ●七三 ●四二六 ●二四一 ●三九五 ●四二三 ●一〇〇 ●五二四 ●四三三 ●五二九 ●五二八二 ●五三二〇 ●五一一九 ●四七八 ●四一八 ●五三九 ●五〇七 ●二三八 ●四五九 ●五二〇 ●三九六 ●四二五 ●三六八
承應	元	沖田面村新羅大明神再興 毛馬内村月山權現建立 盛岡岩手町を材木町と改む(明曆と改元) 盛岡愛染町を茸手町と改む 御即位に付南部重直太刀及び駿馬を献ず 南部重直武州秩父三峰山明神に鐘を納む 南部重直愛宕法輪院に一切經五千四百拾六卷を納む 南部重直領内街道筋に松並木を植ゆ 御預人方長老免罪江府に歸る(萬治と改元) 岩鷲山權現文書 沖田面村早稻田觀音建立 盛岡廣福寺一切經藏建立 新馬町に撒駒始 酒法度酒藏へ封をなし隱酒を中津川へ流す 大豊作にて米價安く川に棄つるものあり 煙草法度 盛岡妙泉寺若宮炎上 渡邊益庵「八戸紀行」を草す	●三三九 ●七三九七 ●四二二 ●四四一 ●四九〇 ●二四二 ●四八五 ●四八〇 ●五二四 ●一八一 ●四一八 ●一八 ●三三九 ●七三九七 ●四七六 ●五四〇 ●三七六 ●三七七 ●三七七 ●二九 ●四五七

明曆	元	沖田面村新羅大明神再興 毛馬内村月山權現建立 盛岡岩手町を材木町と改む(明曆と改元) 盛岡愛染町を茸手町と改む 御即位に付南部重直太刀及び駿馬を献ず 南部重直武州秩父三峰山明神に鐘を納む 南部重直愛宕法輪院に一切經五千四百拾六卷を納む 南部重直領内街道筋に松並木を植ゆ 御預人方長老免罪江府に歸る(萬治と改元) 岩鷲山權現文書 沖田面村早稻田觀音建立 盛岡廣福寺一切經藏建立 新馬町に撒駒始 酒法度酒藏へ封をなし隱酒を中津川へ流す 大豊作にて米價安く川に棄つるものあり 煙草法度 盛岡妙泉寺若宮炎上 渡邊益庵「八戸紀行」を草す	●三三九 ●七三九七 ●四二二 ●四四一 ●四九〇 ●二四二 ●四八五 ●四八〇 ●五二四 ●一八一 ●四一八 ●一八 ●三三九 ●七三九七 ●四七六 ●五四〇 ●三七六 ●三七七 ●三七七 ●二九 ●四五七
萬治	元	沖田面村早稻田觀音建立 盛岡廣福寺一切經藏建立 新馬町に撒駒始 酒法度酒藏へ封をなし隱酒を中津川へ流す 大豊作にて米價安く川に棄つるものあり 煙草法度 盛岡妙泉寺若宮炎上 渡邊益庵「八戸紀行」を草す	●三三九 ●七三九七 ●四七六 ●五四〇 ●三七六 ●三七七 ●三七七 ●二九 ●四五七

寛文

- 元 遠野寶泉寺草創 ④六二一
- 二 南部利長卒す ③三七八
- 新庄村鹿島神社旅所造營 ①一五 ③九三 ⑤六
- 新庄村鹿島神社鰐口銘 ⑤七
- 三 西法寺村毘沙門堂鰐口 ⑤二六七
- 光臺寺境内西より源勝寺・法華寺現地に移る ①四六一 ④六三
- 四 領内惣引合書上 ⑤六七一
- 南部重直江戸に於て卒す ④四八四 ④八七 ③二一六 ②七五 ③七八 ③七九
- 南部重信領内檢地初 ④一四〇
- 南部直房へ八戸を分地す ③四八八 ③二七五 ③七九 ③八〇 ④五〇
- 幕星現はる ③二二〇 ③七九
- 五 南部直房八戸に移る ③二二〇 ④九〇 ③二八〇 ③三八〇 ④五〇
- 領内惣石高並八戸分知高書上同公儀書上高 ⑤五七八 ⑤七九
- 江戸街道に松を植う ③三八〇
- 七戸に代官を置く ④一二三
- 郡山城を毀つ ②四九〇
- 和賀・稗貫檢地 ⑤五七四
- 盛岡妙泉寺修造 ⑤二八

延寶

- 元 京極高國南部氏へ預けらる ②二四〇 ④九一 ③二八〇 ③八二 ④四五八
- 下村左助「盛岡紀行」を草す ⑥四六九
- 盛岡天満宮花屋町より新庄村三上館に移る ①四九九
- 七 十二箇村を十二ヶ村と改む ①八三
- 八 澁民村十一面觀音建立 ⑤二四一
- 九 松前蝦夷蜂起し南部藩野邊地を警備す ②四九一
- 盛岡城より各地への里程書上 ④四〇八
- 一〇 洪水にて中津川三橋及夕顔瀬橋流失す ②四九二
- 一 雫石・澤内檢地 ⑤五七四
- 米内村薬師堂鰐口 ①四九五
- 盛岡覺善院草創 ①四二九
- 一二 北上川新土手築堤 ①四三七
- 岩崎新田披立 ④二一
- 八戸境塚を建つ ④五三
- 一三 左官細工定目(延寶と改元) ⑤六七八
- 上田村堤破壊溺死者五人潰家十餘軒 ②四九二
- 田名部中檢地 ⑤五七四
- 二 南部直榮卒す ④四〇四

三	俳優桐大藏新山川原に初めて芝居興行す 三戸・北閉伊檢地 大澤川原新土手を築く 閉伊浦に浮石流れ不漁となる 七戸村八幡宮棟札 不來方城二階樓造立 遠野地方檢地 北上川新土手竣工川筋改まる 惣年貢米高書上 京極高國卒す 惣年貢米高書上 盛岡御城廻り北上より西方並南閉伊檢地 江戸寛永寺より平泉へ法度文書 不來方城三階樓造立 蒲野澤村稻荷社建立 京極高國檢死の上使下向す 月輪の怪異あり 南部重信江戸に於て火消番仰付らる	●五二二 ●四九二 ●五七四 ●三八二 ●三八三 ●三六八 ●二二〇 ●二四二 ●四九三 ●一〇五 ●五七 ●四三五 ●四一五 ●六七三 ●四五五 ●二四〇 ●四九三 ●二八一 ●二二四 ●六七四 ●五七四 ●五九五 ●二八五 ●二八二 ●二八三 ●五一八
四	栗山大吉卒す 夕顔瀬新山舟橋土橋となる 志和郡北上より西三分檢地 惣年貢米高書上 盛岡・宮古大地震 秋田境に檢使下向す 盛岡北上川以東檢地 惣年貢米高書上 諸運上書上 傳馬人足書上 盛岡三戸町鐘樓建立時鐘を鑄る 五戸・六戸地方檢地 盛岡新八幡宮建立 盛岡城三階樓鑄銘 盛岡永福寺炎上 盛岡妙泉寺大日堂建立 上岩手中淨法寺方面檢地 盛岡城二の丸を築く	●二三八 ●四一四 ●五七五 ●五六七 ●三三三 ●四二〇 ●七四二 ●五七五 ●五六七 ●五九五 ●五五八 ●四二二 ●四二五 ●五三八 ●四九四 ●一八 ●五七五 ●三九三 ●四九五 ●四九八 ●五〇八 ●五一 ●三八八 ●四一〇 ●五 ●四八一 ●五一九 ●四九六 ●二八 ●五七五 ●三九一

三	俳優桐大藏新山川原に初めて芝居興行す 三戸・北閉伊檢地 大澤川原新土手を築く 閉伊浦に浮石流れ不漁となる 七戸村八幡宮棟札 不來方城二階樓造立 遠野地方檢地 北上川新土手竣工川筋改まる 惣年貢米高書上 京極高國卒す 惣年貢米高書上 盛岡御城廻り北上より西方並南閉伊檢地 江戸寛永寺より平泉へ法度文書 不來方城三階樓造立 蒲野澤村稻荷社建立 京極高國檢死の上使下向す 月輪の怪異あり 南部重信江戸に於て火消番仰付らる	●五二二 ●四九二 ●五七四 ●三八二 ●三八三 ●三六八 ●二二〇 ●二四二 ●四九三 ●一〇五 ●五七 ●四三五 ●四一五 ●六七三 ●四五五 ●二四〇 ●四九三 ●二八一 ●二二四 ●六七四 ●五七四 ●五九五 ●二八五 ●二八二 ●二八三 ●五一八
四	栗山大吉卒す 夕顔瀬新山舟橋土橋となる 志和郡北上より西三分檢地 惣年貢米高書上 盛岡・宮古大地震 秋田境に檢使下向す 盛岡北上川以東檢地 惣年貢米高書上 諸運上書上 傳馬人足書上 盛岡三戸町鐘樓建立時鐘を鑄る 五戸・六戸地方檢地 盛岡新八幡宮建立 盛岡城三階樓鑄銘 盛岡永福寺炎上 盛岡妙泉寺大日堂建立 上岩手中淨法寺方面檢地 盛岡城二の丸を築く	●二三八 ●四一四 ●五七五 ●五六七 ●三三三 ●四二〇 ●七四二 ●五七五 ●五六七 ●五九五 ●五五八 ●四二二 ●四二五 ●五三八 ●四九四 ●一八 ●五七五 ●三九三 ●四九五 ●四九八 ●五〇八 ●五一 ●三八八 ●四一〇 ●五 ●四八一 ●五一九 ●四九六 ●二八 ●五七五 ●三九一

盛岡城三階樓鑰銘	一三八九	三二六五	二六六	四一〇六
盛岡新八幡宮社内に瘡守稻荷社建立	一五一一			
北上川舟橋落成す	一五五六	五五五七	二四九四	三二五四
諸運上書上	五七〇六			
職人作料・扶持高日定法	五五五六			
領内漆木數書上	五五五八			
鹿角小豆澤村熊野堂修補す(天和と改元)	五四三〇			
盛岡新八幡に始めて銷流馬を行ふ	一五〇八			
盛岡城下に新市日を命す	一三八三			
盛岡諸家中屋敷改として巡見使下向す	一四二九			
松平越後守家臣小栗十藏父子南部に預けらる	一四九四			
惣年貢米書上	五五六九	六七五		
酒屋數書上	五五六四			
領内人數書上	五五五五			
春木入方書上	五五五七			
兩閉伊再檢地	五五五七			
大迫村普門庵草創	五五五七	六七二		
藏米給所高書上	五五五二	六七三		
	五一七一			
九				
天和				
元				
二				

中津川上の橋架替	一四八六	二五八	五五七四
領内總檢地書上	五五八〇	一六七	一
稗貫・和賀檢地書上	五六七二		
惣年貢米高書上	五六七五		
諸定目改	五六七六		
御馬買御用人馬書上	五六九八		
諸運上書上	五七〇四	七〇六	
舟橋入用積書上	五五七二		
琉球人及朝鮮人聘使來朝藩公に謁す	一四九五		
吉利支丹高札を立つ	一四九五		
盛岡妙泉寺境内に勢至堂建立	一四九七	五二八	
大迫村玄祐菴建立	五一七〇		
福岡呑香稻荷社建立	二七九	七一四八	
南部重信十萬石に加増す	二四九六	二七六	三八五
三戸の住民を盛岡へ移し三戸町と稱す	一四三八		
新山舟橋を土橋に架替	一五五七		
福岡・鹿角・和賀方面檢地	五五七五		
領内總檢地書上	五八〇	一六七	一
三			

貞享

平泉高館に義經堂建立
不來方城内烏帽子石ノ繩祭事始(貞享と改元)

四 八戸領内二箇村を替地す

三 蛇浦村稻荷社建立

吞香稻荷社祈願堂建立

盛岡永福寺建立

岩手山焼崩れ

四 岩手郡川口・藪川村境争論起る

岩手山へ正二位大権現を贈進す

元祿

元 南部義長卒す

渡部益庵歿す

二 檜山村八幡社棟札

大更新田披立

三 二枚橋新田披立檢地

福岡村巖窟觀音棟札

歸命寺本堂及三十三觀音建立

四 森岡を盛岡と改む

下村左助歿す

六二四 六二五 六五〇

四一〇 九

四五三

五四〇 二

五二七 九 七一 四 九

四八一 五一 九

四九九 三八六 四一一 五

四一七

三三八 六

四四〇 四

六四五 七

五二七 五

四三三

四三〇

五二七 五

五二二

一三七 九 三八〇

六四五 八

長岡村天王社棟札

城ヶ澤村神明宮建立

五 福岡朝日觀音再興棟札

鑑倉新田披立檢地

六 鹿角郡秋田・南部兩境に柱を建つ

七 南部行信弟主税・主計に分地す

盛岡餓死人を千日に葬り千日寺を建つ(一本八年)

盛岡永福寺門建立

八 小繋村鐘樓建立

湊村觀音堂建立

川口村如來堂建立

歸命寺大佛造像

九 大迫村地藏堂建立

新山橋落つ

松前江差へ難船の朝鮮人森岡を通過す

天間村天妃媽祖大権現社棟札

一〇 七戸村八幡宮棟札

天臺寺鰐口銘

五一五六

五三八 五

五二八 八

四二九

三二八 五

四五七

一五六〇 五 一三七

五一九

五二五 八

五四〇〇

五四六 二

一五二 三

五一七 二

三三八 九

三三八 九

九六三 一

五三六 九

五三〇 一 七四六 八

一一	江戸將軍家より南部藩へ犬を下す	三九〇
一二	南部義論卒す	四四〇四
	領内の繪圖を作る	四七五
	釜石村尾崎神社御旅所建立	一一二
	中尊寺光堂修覆	三五九 五六〇
一三	南部實信卒す	二二三
	檜山村八幡社鰐口銘	五二七五
	本誓寺炎上	四六五
一四	領内檢地書上	四二二五 一二七
	領内大凶作餓死人多し	三九一
一五	南部重信卒す	三二七 二二一 一五〇〇 三九〇 三九二 八二
	南部行信卒す	二二四 三一四 三九二 三九四
	新庄村藤ヶ森を楓の森と唱ふ	五〇五
	釜石浦より漁師朝鮮古鐘を引揚ぐ	四五五 五一六
	城下萬日に餓死者を葬る	五 一三七
	善光寺如來森岡にて開帳	三九二
	盛岡大洪水	三九三
	閉伊浦にて眞甲鯨三十四五頭陸に揚る	三九三

寶永

一六	熊盛岡城下に現はる	三三九三
元	領内凶作笹の實を餅にして喰ふ	三九五
二	大迫村藥師堂建立	五一七一
	五戸市川新田披立	四三七
	盛岡城の一部改築す	三三九八
	遠野感應寺建立	四六二八
	毒ヶ森へ青龍山大權現堂建立	三三九八
	櫛引村八幡宮鰐口銘	五三四三
	聖壽寺・東禪寺へ下馬札を建つ	四六〇
三	盛岡神明社を山伏小路より神明丁へ移す	一五二五
	蒲野澤村八幡宮建立	五三八四
	盛岡本誓寺炎上	五二七
四	南部信恩滴石村新山堂修補	五四三八
	松尾大明神を盛岡紙町に勧請す(一本三年)	一五二七 五一三
五	南部信恩卒す	二二五 三二一
	福岡安養寺炎上	五二七九
六	不來方城内舞臺造立	四一〇九
	初めて盛岡二十三丁より出し練物出づ	一五〇八

- 七 天臺寺鐘銘 七四六八
- 正 小鳥谷村熊野堂建立 五二五九
- 德 盛岡聖壽寺仁王門建立 一四五九 五二〇
- 元 大勝寺岩手山支配文書 四一八
- 二 南部利哉卒す 四四〇四
- 三 厨川村古館八幡宮再興 一五六九
- 四 津輕論山に檢使下向す 三二六二 四二二一
- 似鳥村新山權現再興棟札 五二九〇
- 六 領内檢地書上檢地役へ布達出づ(享保と改元) 四二二五 一四一
- 西法寺村毘沙門堂鐘銘 五二六七
- 鬼柳村正覺寺鐘銘 五五〇四
- 享 遠野明前念佛堂建立 四六一八
- 保 福岡村八幡社建立 五二七九
- 元 雫石川前通新田披立 四三四
- 三 領内高山書上 四一九
- 四 檜山村八幡社棟札 五二七五
- 五 北成島村阿彌陀堂再興 五五三八
- 六 長岡村天王社棟札 五一五六

- 七 阿部友之進幕命により藥草を書上す 一四五
- 九 早池峰御嶺兩社炎上 五二七六
- 遠野大慈寺炎上 四六一九
- 街道松並木布達出づ 四七二
- 猿ヶ石川大洪水 五五四〇
- 一〇 南部利幹卒す 二二二六
- 新田奉行を始めて置く 四三六
- 二戸安養寺修覆 五二七九
- 一一 田名部天妃大權現棟札 九六三二
- 中野七兵衛和賀・稗貫郡内に新田を披く 四三〇
- 一二 淺澤村神明社建立 五三〇九
- 一三 岩淵村阿彌陀如來堂棟札 五二九三
- 一四 阿部友之進領内の藥草及石藥を採集す 五六八
- 小鳥谷村稻荷社棟札 五二五九
- 盛岡城内神明社炎上 一五二四
- 一五 岩淵村稻荷社棟札 五二九三
- 領内の免租布達出づ 四一一
- 一六 盛岡報恩寺觀音開帳 一四七三 五二一

一七	下斗米村大宮權現建立	五三一
一八	諸士知行新田御禮錢高を定む	四三八
一九	盛岡城内太鼓堂造立	三九五
	澤内新田披立	四一〇
	盛岡報恩寺五百羅漢開帳(一本二十年)	四七四
	吞香稻荷社修造	五二七
	檜山村八幡社鰐口銘	五二七
二〇	南部信有卒す	四〇四
	花卷二郡新田へ役金を申付く	四三一
	盛岡城稻荷大明神造立	五八
二一	盛岡城下下小路に榊山稻荷大明神御旅所建立	一三九
二二	城ヶ澤村八幡宮建立	一四五
	藩内新田改	一四三
	盛岡多賀大明神建立	一四四
	盛岡下小路に稻荷社を建立	一四四
三	中尊寺光堂文書	一五三
	歟ヶ崎船頭庄兵衛等十七人難破無人島に漂着す	一五六
	新庄村尾崎大明神建立	一五七

寛保	四	盛岡八幡宮社内春日大明神建立	五一一
	五	盛岡松尾大明神遷宮	五一三
	六	盛岡八幡宮内梅宮大明神建立(寛保と改元)	五一七
	元	諸士知行新田披立禮錢を改む	五一二
	二	領内新田披立禮錢を改む	四三九
	三	盛岡城内の板橋を石橋となす	四二五
	三	領内検地	一七〇
延享	元	免租布達出づ	四一三
	二	遠野城内上屋敷炎上	四一三
	二	遠野城内本屋普請成る	四一三
	四	野邊地検地	四一三
	五	野邊地検地	四一三
	二	伊藤祐清歿す	四二五
寛延	二	淡路丸大明神を城内に勧請す	三九〇
	三	釜石浦白濱善之丞の神力丸難破支那に漂着す	四一六
	四	「はすのくさ」上梓	二八八
寶曆	四	盛岡神明宮建立	三九九
	二	南部利視卒す	八二二

三	釜石浦へ神力丸支那より歸着す	十三九九
四	遠野領來内川大洪水	十四四五
五	領内大凶作	四四二二 六五三
六	長岡村天王社棟札	四三八五 六五八
七	盛岡山王社炎上	五一五六
八	金森兵部盛岡へ謫せらる	五一三
九	宇夫方廣隆「遠野古事記」を編む	五二六
一〇	盛岡宗龍寺建立	四三六五
一一	高橋子續「南部臯中風土記」を草す	五二二
一二	盛岡夕顔瀬橋へ中島を築く	二九六
一三	新庄村天神社内に芭蕉句碑を建つ	四一四
一四	花巻川口町大火	一四九九
一五	小野素郷京師に學ぶ	九二九七
一六	澤内新田檢地	八一四九
一七	豊田城趾碑	四二二六 二〇六
一八	宮古・鹿角新田檢地	三六三九
一九	不來方城下大火	四二二六 二一〇
二〇		五一六

天明

一	領内各所の新田を檢地す	四二一六
二	南部利雄卒す	二二三五
三	邦内給地・寺社地・民戸書上	八一三七
四	平泉義經堂再興	五一二五
五	高橋子續歿す	三六五一
六	安俵・高木通檢地	二七五
七	宗門奉行並邦内惣人數書上	四二二六 二一八
八	菅江眞澄奥羽遍歴の途に上る	五一〇〇
九	相原友直歿す	六六
一〇	高木通檢地	三四六二
一一	藩内大飢饉	四二二六 二三六
一二	仁王厩を櫻馬場へ移す	四三一五
一三	小野素郷盛岡に歸る	一四三二
一四	南部利正卒す	八一五〇
一五	菅江眞澄秋田に入る	三三二八
一六	菅江眞澄恐山に登る	六一五
一七	菅江眞澄鹿角より江刺に至る	六九三二
一八	菅江眞澄再び恐山に登る	六二〇三

寛政	六	菅江真澄大畑・田名部に遊ぶ	六二六一三一一
	八	菅江真澄三度恐山に登る	六三六一
	八	菅江真澄平泉より松前に赴く	六四七六八一〇七
	八	菅原重厚盛岡に来遊す	十二六三
	八	櫛引村八幡宮鰐口銘	五三四三
	元	歟々崎船頭庄兵衛等二十一年間を絶嶋に送り歸還す	十三七九
	二	服部武喬「御國通辭」を編む	十四七五
	三	「無功德」上梓	八二五三 二五五
	五	菅江真澄「天妃縁起」を草す	九六二七
	六	俳人甫尺盛岡に梅園を訪ふ	六五三九
	六	俳人青岐・栗本玉屑と東北に遊び「東北遊」を草す	六四一一
	七	菅江真澄領内巡遊田名部に越年す	十三四七
	二	服部武喬歿す	五〇三 五七〇
	一二	新庄村住吉大明神厨川村より遷座	六五六三
	一二	建部巢兆梅園を訪ふ	五三
享和	元	大卷秀詮歿す	九三二二
文化	元	北上川洪水	四七六
元		領内郡名村名假名付帳書上	

	三	見張番所及境目番所書上	四八四
	三	古城及要害屋敷書上	四八九
	三	再び三戸熊原川橋に擬寶珠を着く	二三五五
		「舊蹟遺聞」上梓	七一
	七	津志田に遊女屋を建つ	一五六五
	八	玉山六兵衛露艦長等を召捕る	六五六九
		阿部知義歿す	四一
		盛岡聖壽寺五重塔建立	一四五九
	九	神明丁を生姜町と改む	一五二四
		寺町を花屋丁と改む	一四五一
		四ッ家袋町を谷小路と改む	一四五〇
		京町を本丁と改む	一四五〇
		久慈町を萱町と改む	一四三八
		新町を吳服丁と改む	一五二九
		盛岡城下町を丁と改む	一三八二
		田町を三戸丁と改む	一四三八
		新穀丁を町並に命ず	一五四二
		鈍屋丁を町並に命ず	一五四九

文政	一〇	青物丁を町並に命ず	一五六一
		藩内大飢饉	四三三四
		新馬場を松の馬場と改む	一四〇六
		萬日を南川岸と唱ふ	一五四六
		千日を橋場と唱ふ	一五六〇
	一三	盛岡城下諸士丁名改む	一五六〇
	一四	市原謙助「篤馬家訓」起稿	五五四九
	一五	加茂國村梅園に駐杖(文政と改元)	十三〇三
	元	平野平角櫟谷亭に隱棲す	八一九八
	三	船越浦船頭平之丞等難船しバラウ嶋に漂着す	十四三三
		小野素郷歿す	八一五〇
	五	梅内祐訓「聞老遺事」を編む	二二八七
	六	新渡戸姫岳歿す	八二二二
	八	平野平角歿す	八一九八
	一一	北上川大洪水所々落橋す	四三五六
	一二	猿ヶ石川大洪水溺死人あり	四三五八
		黒川盛隆歿す	一八八九
		菅江眞澄歿す	六六

天保	一三	領内大地震	四三五九
		盛岡春木場假橋を架す	一四九四
	四	星川正甫「盛岡砂子」初稿成る	一三五四
	七	三輪秀福歿す	七一
	一〇	野邊地馬遊歿す	八一五〇
		小友村船頭三之丞等南洋に漂着す	十四四三
		志波郡を紫波郡と改む	一四二
弘化	四	閉伊郡野田・宮古・大槌の農民一萬二千餘人大舉し遠野城下に押寄す	四二四一
嘉永	元	大阪商船江戸へ回漕の途上難船し氣仙郡越喜來に漂着す	十四五七
	四	那珂梧樓東北遍歴の途に上る	八二八〇
安政	六	野田外八十九箇村の農民四萬人南部藩の秕政を伊達藩に訴ふ	四二四一
	二	小友船漂流記念碑建立	十四四四
	四	「鯢山詩稿」上梓	八四五九
萬延	元	那珂梧樓藩學明義堂の教授となる	八二八一
文久	三	八角良温歿す	九四〇七
慶應	三	「學軌」上梓	八二八〇
	二	梅内祐訓歿す	七二
明治	六	「古事記便要」上梓	八二八〇

漆戸茂樹歿す	七
那珂梧樓曙新聞に執筆す	九
明治大帝東北御巡幸	一二
「北奥路程記」天覽を賜ふ	一二
那珂梧樓歿す	一四
「文法捷徑」上梓	一四
明治大帝東北御巡幸	一七
「杜陵方言考」天覽を賜ふ	一七
照井全都歿す	一七
盛岡大火	二二
三好監物追悼會	二二
「はゞかりながら」上梓	二五
「旅の苞」上梓	二六
山崎鯤山歿す	二九
小本村司歿す	三七

七九五
八三五〇
七九五
七九五
八二八一
八二八〇
十五二三
十五二三
十五二三
十一
八二二一
八五九〇
八二八〇
八二八〇
八四五九
十五二三

南部叢書總目次

例言	第一册
奥々風土記	一
澤内風土記	二七五
鹿角由來記	二九九
宮古由來記	三一七
川くゝるみ狀	三三七
續川くゝるみ狀	三四五
盛岡砂子	三五三
南部根元記	一
奥南舊指録	一〇一
志和軍戰記	二五三
聞老遺事	二八七

阿曾沼興廢記	第三册
祐清私記	一
平泉雜記	一一三
郷村古實見聞記	四六一
百姓一揆録	二四一
動轉愁記	三一三
遠野古事記	三六五
邦内郷村志	一
邦内貢賦記	五四九
第六册	

眞澄遊覽記 一
 けふのせはのゝ 九
 はしわのわか葉 四七
 委波底廻夜麿 一〇七
 牧の冬かれ 一五一
 於久の宇良宇良 二〇三
 まさのあさ露 二六一
 をふちのまさ 三一
 奥の手風俗 三六一
 淤遇濃冬隠 四一一
 十曲の湖 四三三
 八戸紀行 四五七
 盛岡紀行 四六九
 奥州紀行 四八一
 奥の紀行 五一七
 東北紀行 五三九
 宮古紀行 五六三

一
九
四七
一〇七
一五一
二〇三
二六一
三一
三六一
四一一
四三三
四五七
四六九
四八一
五一七
五三九
五六三

歸雁記 五六九
 梧樓日記 五七七
 第七册 一
 舊蹟遺聞 九五
 北奥路程記 一
 第八册 一
 西卒歌集 一
 壺雲亭句集 九三
 丙寅引附集 一〇五
 松花集 一三七
 柴園の句集 一四九
 梅園の句集 一九七
 姫岳の句集 二二一
 はすのく徳 二三一
 無功徳 二五三

五六九
五七七
一
九五
一
一
一〇五
一三七
一四九
一九七
二二一
二三一
二五三

梧樓存稿 二七九
 鯢山詩稿 四五九
 鯢山遺稿 四八九

第九册

吾妻むかし物語 一
 二郡見聞私記 一三五
 清悦物語 三四九
 檀毘尼長者本地 三六七
 錦木塚の由來 三八七
 奥州南部錦木の由來記 三九七
 鹿角郡 四〇五
 塵袋抄 四六三
 九戸軍談記 四六三
 二代田村三代田村 五四九
 砥嶺神靈翁之夜話 六一五
 天妃縁記 六二七
 奥州膽澤高山實傳 六三三

二七九
四五九
四八九
一
一三五
三四九
三六七
三八七
三九七
四〇五
四六三
五四九
六一五
六二七
六三三

第十册

莊子解 一
 渾天儀 一三三
 藥草御用書上 一四五
 大梅居士文鈔 一六一
 松の下の草 一八九
 勿謂藻はな 二二九
 其園日梅 二六三
 梅園日記 三〇三
 巢兆日記 三三一
 閒人雜記 三四七
 無人嶋漂着物語 三七九
 神力丸漂流記 三九九
 パラウ漂流記 四三三
 小友船漂流記 四四三
 大阪船漂着記 四五七

一
一三三
一四五
一六一
一八九
二二九
二六三
三〇三
三三一
三四七
三七九
三九九
四三三
四四三
四五七

總目次

御國通辭
杜陵方言考
俗言集

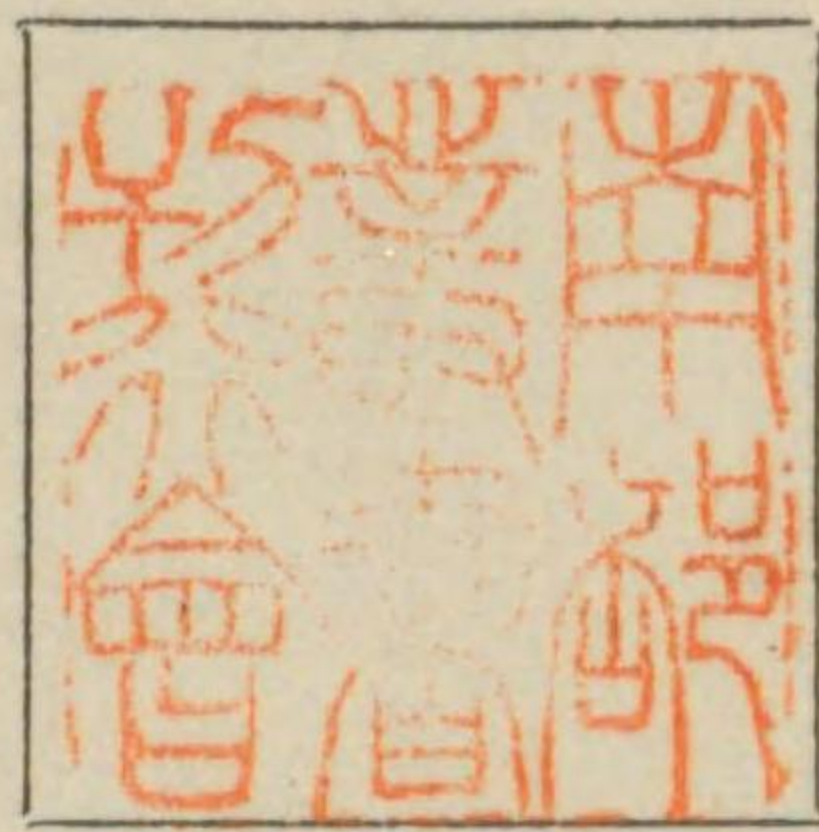
四七五
五二三
五七九

昭和六年九月二十五日印刷
昭和六年九月三十日發行

南部叢書索引

不許複製

(非賣品)



編纂兼
發行人

南部叢書刊行會

代表者 太田孝太郎

東京市外西巢鴨町宮仲二七二番地

印刷所

合資會社 光文社印刷工場

印刷人 山下謙之助

發行所

盛岡市中ノ橋通・盛岡銀行俱樂部内

南部叢書刊行會

26 183

